

省人力化における現場管理

山梨県土木施工管理技士会
株式会社 早野組
現場所長

鷹左右 裕
Hiroshi Takasou

1. はじめに

当業界における最大の課題と言っても過言ではない、安全管理について私が担当した大月改良舗装工事についての対応策及び工夫点を報告いたします。

2. 改善提案

当工事を運営するにあたり安全管理を重視し且つ、現場をスムーズに進捗させるうえで考慮した点は①近隣住民対策②作業員の安全確保③現場繁忙期においても省人力にて対応できる現場管理についてです。

3. 問題と対策

当現場は高軟弱土（粘性土）約3,000m³の場外搬出があり、搬出車両に軟弱土が付着し一般道を著しくよごしてしまう恐れがありました。そこで現場出口にスパッツを用い搬出時車両のタイヤを清掃し、一般道を通行させました。（下記写真参照）



写真-1 現場内搬出土積込状況



写真-2 左（スパッツ全景）



写真-3 中 (タイヤ清掃状況)



写真-5 左 (作業員休憩所配備状況)



写真-4 右 (タイヤ清掃箇所拡大)

- ・ 搬出車両のタイヤ清掃により一般道を汚すことなくまた、苦情なく工程を終了できた。スパッツを用いたことにより、通常乾式清掃時に発生する埃や、水を用いての清掃時に発生する泥の抑制になり周辺環境へ大いに貢献できたと思います。道路清掃・苦情対策等により、現場職員や作業員が対応することなく業務に専念できました。

②当工事の繁忙期は夏季に集中することが当初より予想されたため、熱中症対策を考慮しておく必要があった。そこで現場事務所には製氷機を置きいつでも作業員が持ち出せるようにした。また休憩所にはスポーツ飲料及び塩分を含んだ飴を常備しておくことにより作業服のポケットにいつでも塩分飴をしのばせ補給することができる。



写真-6 中 (現場事務所製氷機配備)

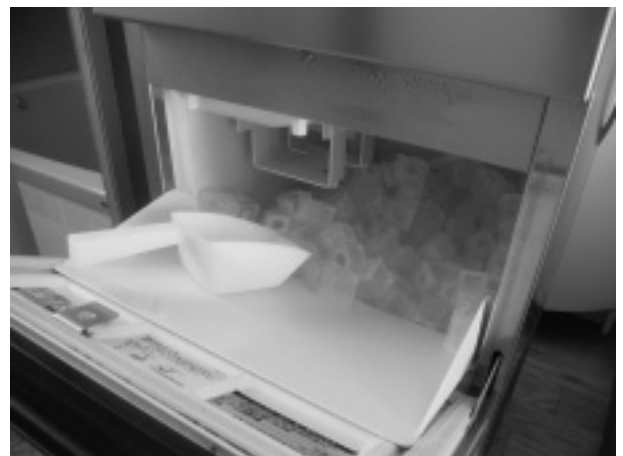


写真-7 右 (製氷状況)

- ・ 上記対応により現場内にて、熱中症はもとより体調不良になる作業員も発生しなかった。また

場外より持ち込んだ飲料の空き容器や氷の袋などのゴミの発生も抑制できました。

③繁忙期に作業員人数増大による災害発生防止および円滑な現場進捗のため現場作業範囲及び危険箇所の周知徹底に留意した。実施内容として、作業前ミーティング時にはホワイトボードを利用し当日の作業箇所・危険箇所等を現場平面図に記入し周知した、また構築構造物の詳細図面をラミネートし、丁張等に掲示し作業員の勘違いや未確認による作業手戻りを防止し次工程への遅延を防止した。最後に現場内には埋設水道管（φ300）があり構造物床堀及び道路土工時に破損させてしまう恐れがあったため、埋設箇所上部に警告標示を行った。



写真-8 左（丁張に詳細図掲示）

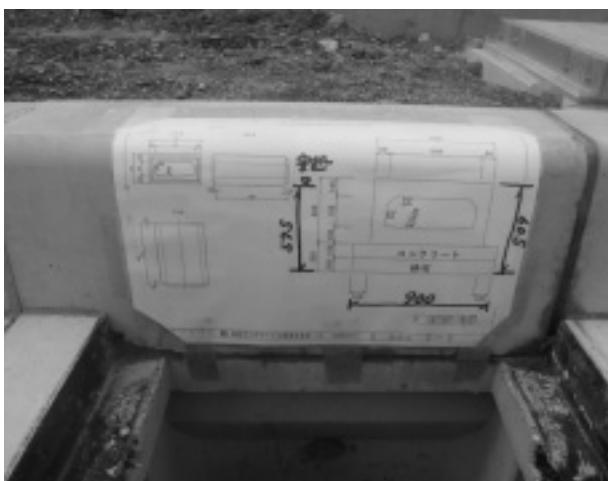


写真-9 右（横断暗渠詳細図掲示）

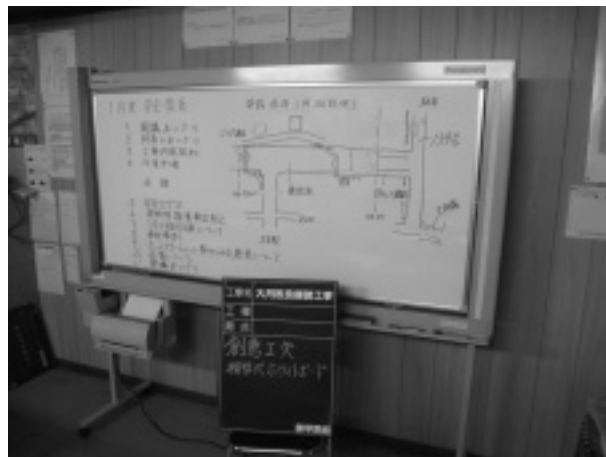


写真-10 左（ホワイトボード記載状況）



写真-11 右（警告板設置状況）

・上記工夫を行ったことにより各作業が安全且つ円滑に次工程へ進捗し工事が終了できた。

4. おわりに

終わりに当現場にて実施した内容において、基本理念は安全第一を筆頭に『いかに省人数の管理職員及び本作業以外での作業員人数を少なくし、工事を完遂するか』です。しかし実施する内容によっては作成や撤去及び工事終了後の廃棄物の発生などがあるため費用効果を検討する必要があります。各現場においても、ある1本の基本理念を基に現場所長及び現場に携わるすべての方々が現場を遂行していけばよりよい現場（職場）が造っていけると思います。